

令和元年度 学びの質を高める授業改善プロジェクト事業 学びの質を高める学校図書館等活用推進拡大校内研修

青森県 西目屋村立西目屋小学校

基本データ

所在地	中津軽郡西目屋村田代 字稲元121-1
児童生徒数	59人
教職員数	14人
蔵書数	約6,000冊
年間貸出冊数	約2,800冊

テーマ・活動のねらい等

【テーマ】授業改善、教員による利活用の推進

【活動のねらい】

- (1) 研究目標
読むことを中心に据えた国語科の授業を通して、実生活で生きて働くコミュニケーション能力を養う。
- (2) 研究仮説
読書活動との関連を図りながら、単元の中に児童の実態や教材に適切な言語活動を位置付けることで、根拠を明らかにして自分の考えや思いを表現できるであろう。
- (3) 検証事項
学びの質を高めるための学校図書館等の活用方法を明確にする。

取組・活動の概要

- 教育委員会の重点事業である「学びの質を高める授業改善プロジェクト事業」の趣旨に基づき、学校図書館を活用した授業改善を推進する。

(1) 第1学年国語科授業(令和元年10月11日)

- 単元名
「たのしんで本をよもう～ともだちっていいね～」
- 主教材：「お手がみ」（教育出版1年下）
- 補助教材：
『ふたりはともだち』（文化出版局）
『トラネコとクロネコ』（すずき出版）
- 朝の読書タイムでは、5月まで読み聞かせを行い、6月からは選書を含めた一人読みに取り組ませた。

(2) 第5学年国語科授業(令和元年10月11日)

- 単元名
「多様な情報を読み取り、自分の考えを深めよう」
- 主教材：
「世界遺産 白神山地からの提言 - 意見文を書こう」（教育出版5年下）
- 補助教材：
『思考力・構成力・表現力をきたえるはじめてのロジカルシンキング② 書く力』（偕成社）

『みんなの世界遺産①世界遺産を見る・調べる・守る』（岩崎書店）

『もうひとつの屋久島から』（フレーベル館）
「意見文と白神山地緩衝地域で撮影した写真」（西目屋小学校平成30年度6学年児童）

- 主教材だけでは意見文を書くための「根拠」となる情報が不足であることから、「立場」を支える「根拠」が示された二つの書籍を補助教材として示した。

取組・活動の工夫や特徴

(1) 第1学年

- 学級全体として選書に偏りが見られ、学校図書館での貸し出しの利用も消極的で、授業で学校図書館を利用する際も選書に時間がかかるなどなかなか本を読む活動に取りかかれない姿が見られたことから、外部司書を招き、「友達」をテーマにした選書をしていただいた。
- 司書の先生による「ブックトーク」を聞くことにより、紹介していただいた本の中から、「自分が読みたいな」、「楽しそうだな」と思う本を見つけるための活動を行った。

(2) 第5学年

- ①多様な学びに対応する情報源として活用する。

②今後の学校図書館活用の推進をめざす。

- 本単元では、資料収集の仕方の学習を直接の目的としていなかったが、学習の中で、児童に学校図書館のよさを認識させることや目的に応じた資料収集の仕方を具体的に指導した。
- 総合的な学習の時間と関連をもたせた。
- 分類記号と学校図書館の配架場所を確認させ、「図書館マップ」を活用し継続的に指導した。
- 振り返りにより、学校図書館のよさを実感させ、今後の活用促進を促した。

(3) その他

- 全学年の授業実践において、主教材に加えて補助教材を用意し、読書活動の充実を進めた。
- 児童が本とふれ合う機会を増やす工夫として、全校児童を対象とした教師による読み聞かせや、全校児童のおすすめ本を掲示する「読書の木」活動などを行った。



全校児童を対象とした読み聞かせの様子



おすすめ本を掲示する「読書の木」

取組・活動の成果や今後の展望

(1) 第1学年

- 司書の先生によるブックトークで紹介された本を進んで手にとるようになった。
- 自分が読んでおもしろいと感じた本を、友達同士で紹介する姿が見られるようになった。
- 本の選び方を学んだことで、選書の幅が広がった。
- 本の読み方については課題が残ったため、本の読み方についての指導の工夫も検討していく。

(2) 第5学年

- 国語科の「『古典』を楽しむ」「俳句・短歌を作ろう」「『図書すいせん会』を開こう」での学びを広げる活動や、社会科の「わたしたちの生活と工業生産」「情報化した社会とわたしたちの生活」での学習内容を新聞にまとめる活動の際、児童に図書館利用ができないか問いかけ、児童の意見や様子を見取った。
- 学習後、児童は一つの資料で考えをまとめるのではなく、図書館を利用して複数の資料を読んで考えをまとめようとしていた。
- 複数の資料を比較しながら根拠を立てて結論を導き出す態度が身に付いてきた。
- 国語科や社会科、総合的な学習の時間で必要な資料を探す際に、「図書館マップ」を使って配架場所を確認してから資料を探す態度が身に付いており、主体的な学びにつながった。



授業の様子